

## 産業建設委員会

議案第96号 鈴鹿市都市公園条例の一部改正について

### 都市公園内の自動販売機設置などに入札制度を導入

(概要) 財源確保の観点から、都市公園内の自動販売機の設置および管理に入札制度を導入することにより、都市公園法第5条第1項の規定による許可に係る使用料を入札の落札金額とすることができるように改めようとするもの。

質疑 自動販売機の入札は、公園それぞれ単独で行うのか。または、複数の公園をまとめて行うのか。

答弁 現在、入札についての実施要綱を作成中であるが、同一公園内でも複数の契約業者を認めることや、複数の公園をまとめて契約するなどの手法も検討している。



都市公園内の自動販売機

## 予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

## 総務分科会

議案第93号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

### 台風第19号による被災地への職員派遣

○令和元年台風第19号被災地支援事業 120万円

(概要) 令和元年台風第19号に伴う被災地支援のため、被災地への職員派遣に係る旅費や支援物資に係る消耗品費などの経費を計上するもの。

質疑 本市から被災地に職員を派遣する場合、どのような要請を受けて派遣を決定するのか。

答弁 被災地に職員を派遣する場合、部局ごとに三重県から要請を受けて派遣する場合と、対口支援として派遣する場合がある。

今回は、三重県の環境部局および保健部局から県内各市町へ要請があり、本市からは、災害廃棄物処理のため環境部などの職員を長野県長野市に、保健師として被災地住民の健康調査や健康指導などのため健康づくり課の職員を宮城県丸森町に派遣した。

対口支援としては、三重県は長野県中野市に対口支援を行うことが決定され、本市でも対口支援への参加の意思表示をしていたが、派遣の要請がなかった。

対口支援…被災した自治体に対し、中心となって支援する自治体を総務省などが決めて、応援職員を派遣する支援のこと。



長野市での支援作業